

image embed

&lt;img&gt;

## 画像を埋め込む

### タイプ

インラインレベル要素

### 包含

なし（空要素）

文書に画像を埋め込みます。

#### Point

- ・ src 属性は埋め込みたい画像のパスを指定します。この属性は必須となるため省略はできません。
- ・ alt 属性は画像のテキストによる説明になります。必須ではありませんが、アクセシビリティのために非常に有用なため省略せずに記述しましょう。
- ・ width 属性と height 属性の両方を使用して、画像の寸法を設定すると画像読み込みの前に、表示する領域を確保し、コンテンツのレイアウトが移動してしまうのを防ぐことができます。

## 使用できる属性（この要素はグローバル属性を持ちます）

### alt

画像を説明する代替テキストを定義します。単に画像のタイトルを入れるのではなく、画像が表示内容（情景）を説明するように厳密に定義されています。画像が表示できなかった場合は、この説明文が表示されます。

アイコンなどのような文書の文脈に、特に意味をなさない画像の場合は、空文字（alt=""）を設定すると、コンテンツに対して重要な箇所ではないことを示します。

### src

文書内に埋め込む画像のパス（URL）を指定します。この属性は必須属性で省略することができません。

埋め込める画像ファイルの種類は PNG、GIF、アニメーション GIF、JPEG、SVG、WebP のみです。

### width height

画像の幅と高さをピクセル値で指定します。

### loading

ブラウザに画像取得の方法を指定します。初期値は「eager」

「lazy」を指定することで、ブラウザネイティブ実装の遅延読み込み（lazy loading）を実現し、Web ページの表示体感速度を向上させることができます。

### srcset（主に picture 要素 source 要素の組み合わせで使用）

複数のイメージソースを指定して、ディスプレイサイズやデバイスピクセル比に応じて（レスポンシブ）代替画像を表示します。候補となる画像のパスに合わせて、表示する条件を半角スペース区切りで指定します。

各条件は、画面の幅「w」、高さ「h」デバイスピクセル比「x」の単位を付けて任意に指定します。

代替画像の候補は「,」（カンマ）区切りで、複数指定することができます。

## sizes（主に picture 要素 source 要素の組み合わせで使用）

画像ファイルなどのサイズを指定します。

指定できる値のルールは「,」（カンマ）区切りで1つ以上指定する必要があります。

1. メディアクエリ、画像の表示サイズの組み合わせが、0組以上
2. 画像の表示サイズ

## パスについて

画像などのような対象となるファイルなどのリソースの位置を指定する方法を「ファイルパス」や「URL」と呼びます。

ファイルパスの指定方法には、「絶対パス」と「相対パス」の2種類があります。

### 絶対パス（完全パス）

http:// から始まる URL で、ブラウザのアドレスバーなどで表示されている URL もこれにあたります。

どのサーバーの中にあるどのフォルダの中の・・・と、対象ファイルまでの道順を指定しているため、どこからでも対象ファイルへたどり着ける道順を示していることになります。

イメージとして、手紙や荷物を送る際に指定する住所と同じと思ってください。

### 相対パス

埋め込みや呼び出したいファイルからみた、対象ファイルへの位置を表現しているのが相対パスとなります。

イメージとしては、人に道を訪ねた時の道順になります。そのため、html ファイルの設置場所が変わったりすると、道順が変わるため、ファイルを読み出すことができなくなります。

### 相対パスの例

#### サイトフォルダ

index.html

#### product

site.html

app.html

#### skill

#### front

vue.html

react.html

index.html から site.html の場合

product/site.html

site.html から app.html の場合

app.html

app.html から index.html の場合

../index.html

site.html から vue.html の場合

../skill/front/vue.html

index.html から react.html の場合

skill/front/react.html

vue.html から site.html の場合

../../product/site.html

## サンプル

```
<body>
  <p>オランダの景色</p>
  
</body>
```



MDN Web Docs : <https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/HTML/Element/img>

anchor

**<a> </a>**

## リンクを設置する

### タイプ

### 包含

ブロックレベル要素

インラインレベル要素

href 属性を使って、別の Web ページ、ファイル、メールアドレス、電話番号、同一ページ内の別の場所や、URL で別の Web サイトへのハイパーリンクを作成します。

## 使用できる属性（この要素はグローバル属性を持ちます）

### href

リンク先のパス（URL）を指定します。リンク先は、HTTP ベースの URL 以外もブラウザがサポートするプロトコルなら使用することができます。

- ・ 電話番号      href="tel: 電話番号 "  
スマートフォンならリンクをタップすることで、電話が起動し、指定した電話番号へコールします。
- ・ メールアドレス      mailto: メールアドレス  
リンクをクリックすることで、インストールされているメーラーが起動し、指定したメールアドレス宛のメール作成が開きます。

### Point

href 属性の値の接頭辞に「#」（ハッシュマーク）を付けることで、ページ内で指定した場所へ移動するリンク（ページ内リンク）を設置することができます。ページ内リンクの目的地は、要素の id 属性の値になります。

属性値に「URL#id 属性の値」を指定すれば、外部リンクの指定した場所へ移動するリンクを設置することも可能です。

属性値に「#top」を指定すれば、ページトップへ移動するリンクを設置することもできます。

### target

リンクの表示先を指定します。あらかじめ定められた予約語か、任意の値を設定することができます。

- ・ \_blank      新しいブラウジングコンテキスト（ウィンドウまたはタブ）で表示されます。
- ・ \_parent      現在のブラウジングコンテキストの1つ上位のウィンドウまたはタブを対象に表示されます。
- ・ \_self      現在のブラウジングコンテキストに表示されます。
- ・ \_top      現在のブラウジングコンテキストの最上位のブラウジングコンテキストに表示されます。

## サンプル

```
<p>同一サイトへのリンク</p>
<ul>
  <li><a href="index.html">HOME</a></li>
  <li><a href="company.html">COMPANY</a></li>
  <li><a href="accessss.html">ACCESS</a></li>
</ul>

<p>別のサイトへのリンク</p>
<div><a href="https://www.yahoo.co.jp/" target="_blank">Yahoo!Japan</a></div>
<div><a href="https://www.google.com/" target="_blank">Google</a></div>
```

